

この紙のゴール: 初めて出すものと、もう出したものを、a と the で書き分けられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

There is a small park near my house.
家の近くに小さな公園がある。
The park is very quiet in the morning, so I often read there.
その公園は朝とても静かなので、よく本を読む。

型で書く 型で書く—____だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): convenience store / small park / old temple (2): open all night / very quiet / built 200 years ago (3): homework / advice / information)。気づき: (1)は相手が初めて聞くので a、(2)はもう出したので the。同じ名詞なのに冠詞が変わるのは、読み手の頭の中が変わったからです。

(1) There is (a / an) _____ near my house. 初めて出すもの

(2) The _____ is _____. そのようす (上の続き)

(3) I have a lot of _____ this week. 今週たくさんあるもの (数えない名詞で)

ペアで話す ペアで話す—持ち物あてクイズ

出題の型: I have something in my bag. It is _____, and I use it _____. でヒントを出す。当てる人は Is it a _____? の形で答える。当たったら出題者が Yes! The _____ was a present from my aunt. と1文足して、a から the への移りを回収する。

(1) I have something in my bag. It is round, and I use it every morning.

出題する人—2文でヒント

(2) Is it a watch? / Is it a mirror?

当てる人—a をつけて聞く

あいづち・返しの型: That's right! Try again. One more hint, please. I have no idea.

書く

3文つなげて「わたしのまわり」

思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで短い紹介になる。最後に、ペアの相手について聞いたことを1文で: My partner has a _____ near _____.

評価

先生はここを見ます (加点式)

1文目が a、2文目が the で書き分けられている	+5点
数えない名詞に -s や a をつけていない	+3点
ペアの相手についての1文がある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ